

大津町の宝 大津町運動公園



表紙紹介

塘町筋

寛永の頃に熊本藩主細川忠利公により堀川（瀬田上井手）の開削工事が再開された際、工事の排土により築かれた川塘の上に建てられた町並みが塘町筋です。ここは豊後街道に面しており、宿場形成のために一部白川筋の住民を移住させるなど、当時政策的に作られた町でした。旅籠・商家などが軒を連ねて宿駅大津の中心地となりました。堀川の北側に並ぶ光尊寺・年禰神社・大願寺は何れも新住民の定着を願って建立されたものです。

また、堀川には、上流から地蔵橋（大林出分）「1828年」

大津町運動公園

開設 平成9年4月
事業費 約45億円
総合体育館 平成16年3月
事業費 約21億円
運動公園は、サッカーの試合を中心に年間約6万人の利用があり、体育館は各種の試合や学生、社会人の利用も多く、年間約8万7000人の人たちがスポーツに親しんでいます。
経済効果を試算すると約3億6千万円になり、スポーツの交流により大津町のアピールにも大きな効果が期待されています。



光尊寺橋

光尊寺橋「1815年」
松古閑橋「1779年」
大願寺橋「江戸中期」
井手上橋「1817年」
の5基の石造眼鏡橋があり、うち下流の4基がこの町筋にあります。さらに、西南戦争の弾痕の残る大願寺山門や芭蕉百年忌に建立された芭蕉句碑など、往時をしのばせる史跡が多く、ここは歴史の香りのする町並みです。

「鶯のいる花の賤やとよあかさむ
はせを翁」

『芭蕉句碑』より
教育委員会資料より

編集後記

新年おめでとうございます。
荒木委員長を筆頭に主に新人議員で構成する広報委員は2年を経過しました。昨年は県内の町村議会の広報コンクールでは2位で入選を受賞しました。町民の皆さん方に解り易く議会の活動を伝えたいと思っています。
昨年暮れから寒波が続いていますが、町全体で今年こそ熱く燃え上がりたいものです。
(吉永)

議会広報編集特別委員会

委員長 荒木 俊彦
副委員長 金田 俊二
委員 吉永 弘則
委員 源川 貞夫
委員 府内 隆博

この議会だよりはリサイクル推進のため再生紙を利用しています。